

7T92

BSB7T92-A1006

セイコーウォッチ株式会社

SEIKO

取扱説明書

INSTRUCTIONS

CHRONOGRAPH

G-1

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。
なお、この説明書はお手元に保管し必要に応じてご覧ください。

※ お買い求めの際の金属バンドの調整は
お買い上げ店・弊社お客様相談窓口
(裏表紙に記載)にて承っておりますが、
その他のお店では有料もしくはお取扱
いいただけない場合があります。

※ 保証期間内でも電池交換は
有料となります。
お買い上げの時計には検査用のモニター
電池が入っています。所定の年数よりも
早めに電池が切れることがあります。



警告

取扱いを誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。



時計から電池を取り出さないでください



乳幼児の手の届くところに時計本体や部品を置かないでください

電池や部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師とご相談ください。



次のような場合、ご使用を中止してください

- 時計本体やバンドが腐食等により鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合

※ すぐにお買い上げ店・弊社お客様相談窓口（裏表紙に記載）にご相談ください



注意

取扱いを誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。



以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品・防虫剤・シンナーなど）
 - 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ ○ 高湿度なところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ ○ ホコリの多いところ ○ 強い振動のあるところ
- ※ 電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。



アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医に相談してください。



その他のご注意

- 上げ時計やペンダント時計のひもやチェーンが衣類や手・首などを傷つけるおそれがありますのでご注意ください。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。

目次

操作について

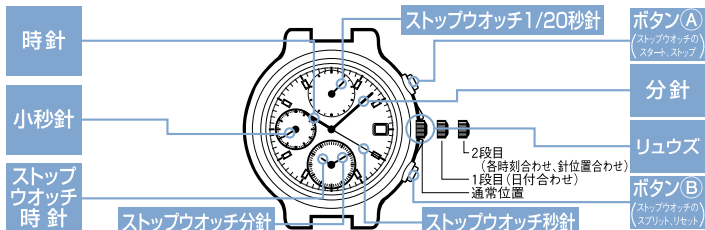
各部の名称	6
時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ (基本時計・ストップウォッチ針)	8
日付けの合わせかた	13
ストップウォッチの使いかた	14

ご注意いただきたいこと

アフターサービスについて	22
保証について	24
お手入れについて	26
防水性能について	28
耐磁性能について	32
バンドについて	34
特殊な中留の使い方について	36
使用電池・電池寿命・精度について	42
ルミブライトについて	43

操作について

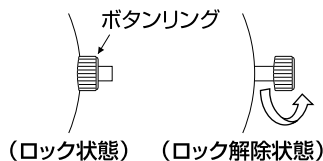
各部の名称



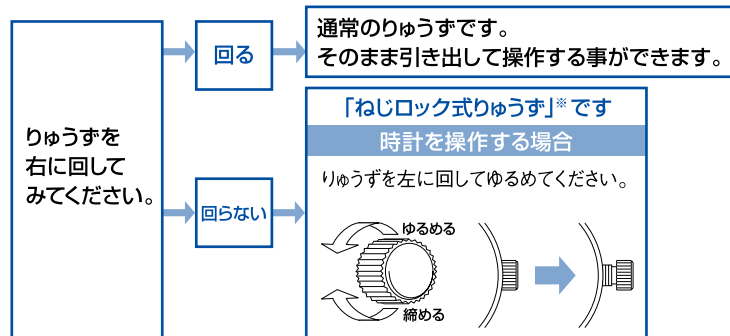
※以降の説明では、説明に不要な部分の針を省略することがあります。

「ねじロックボタン」について

- 図のようにボタンリングがついている構造のモデルは、ねじロック構造のボタンです。
- ボタンを操作する際は、右図のようにボタンリングを左に回しロックを解除してください。
- ボタンを操作しない時は、常にボタンをロック状態にしておいてください。



りゅうずをご確認ください



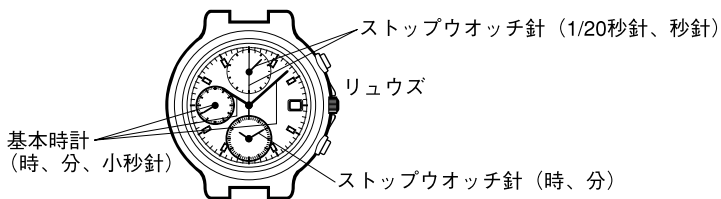
※ りゅうずが誤って引き出される事を防止するため、時計本体にねじ止めできるりゅうずです。

- 時計の操作後は必ずりゅうずを押し付けながら右に回して元通りに締めてください。
- りゅうずを締める時、回しにくい場合は元に戻してからやり直してください。
- 無理に締めますとねじを壊す恐れがあります。

時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ (基本時計・ストップウォッチ針)

この時計の時刻合わせとストップウォッチ針の0位置合わせは、共にリュウズ2段目で行ないます。そのため、時刻合わせ等でリュウズを2段目に引き出した際は、下記の2つの項目を確認または合わせ直してから、リュウズを押し込んでください。

- ・ 基本時計の時刻
- ・ ストップウォッチ針（4本）の0位置



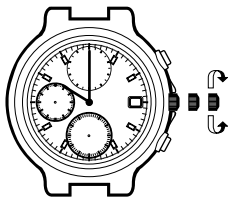
●時刻の合わせかた

- ① リュウズを2段目まで引き出してください。小秒針が止まります。小秒針は12時の位置に止めてください。



※ ストップウォッチ計測中の場合は、ストップウォッチが強制的にリセットされます。

②リュウズを回して、「基本時計」の時刻を合わせます。

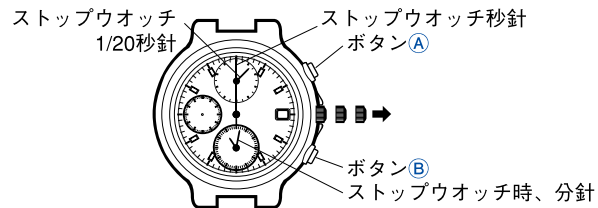


このとき合わせる時刻は、今から数分後の時刻に合わせることをお勧めします。
「ストップウォッチ針の0位置の合わせ」を行ないます。すべての合わせが終わってから、リュウズを押し込むことになるので、数分先の時刻に合わせておく必要があります。

- ※日付が変わるところが、午前0時です。午前午後を間違えないように合わせてください。
- ※この時、正確に合わせるために分針を正しい時刻より4～5分進めてから針を戻して合わせてください。

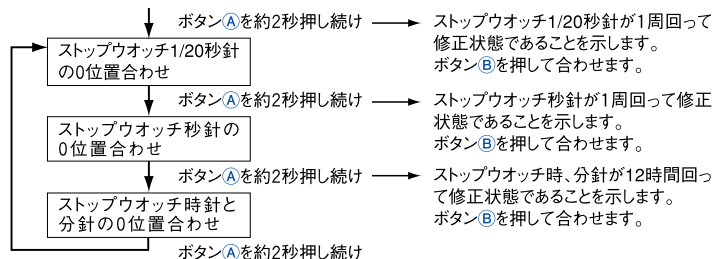
③次に、4本の「ストップウォッチ針」の0位置を合わせます。

「ボタンAを約2秒押す」ことで、修正できる針が次々と切り替わります。



ボタンBを押して修正します。押し続けると、早送りします。

日付の合わせかた

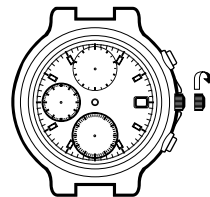


④すべての合わせができたら、時報と同時にリュウズを押し込みます。

- ※基本時計の時刻が合わせる時刻になっているか確認してリュウズを押し込んでください。
- ※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

○時刻合わせができてから、日付を合わせてください。

①リュウズを1段目まで、引き出してください。



②リュウズを右に回して、日付を合わせてください。

※午後9時から午前4時までは日付を合わせないでください。この時間帯に合わせると、翌日になって日付が変わらないことがあるので、この時間帯外で日付を合わせてください。

③合わせ終わったら、リュウズを押し込んでください。

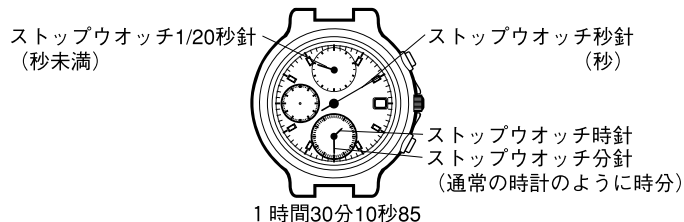
ストップウォッチの使いかた

○1/20秒単位、12時間計です。12時間計測すると自動的にストップします。

○全部で4本のストップウォッチ専用の針が計測時間を示します。

〈計測時間の読みかた〉

4本のストップウォッチ針(1/20秒、秒、分、時計)で計測時間を読み取ります。



〈ストップウォッチ針の0位置について〉

- ストップウォッチをリセットしても、ストップウォッチ針が0位置に戻らない場合、0位置合わせが必要です。
- ストップウォッチ針の0位置合わせは、基本時計の時刻合わせと同時にに行ないます。
(→「時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ」を参照)

〈ストップウォッチ1/20秒針の動きについて〉

- この針は約10分間連続して運針すると、自動的にその動きを止めます。
- 自動的に止まった後、スプリットおよびストップの操作があると、計測した時間を示します。
- スプリット解除後や再スタート後では、9分連続運針後ストップウォッチ秒針が0秒を通過するタイミングで、自動的に動きを止めます。
- スタート後、「ストップ、再スタート」を繰り返す、または「スプリット、スプリット解除」を繰り返した場合、最後の操作があってから、約10分間は動き続けます。

①ストップウォッチのリセット方法

•ストップウォッチ針が動いている場合、

- ①ボタンAでストップ
- ②ボタンBでリセット

•ストップウォッチ針が止まっている場合、以下の3つの場合があります。

【ストップ状態で止まっている】

- ①ボタンBでリセット

【スプリット表示で、内部では計測中】

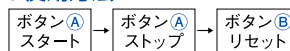
- ①ボタンBでストップウォッチ針が早送りし、その後計測状態になる。
- ②ボタンAでストップ
- ③ボタンBでリセット

【スプリット表示で、ストップ状態】

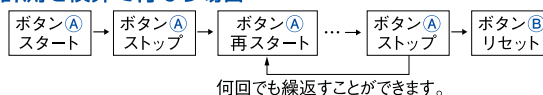
- ①ボタンBでストップウォッチ針が早送りし、その後止まる。
- ②ボタンBでリセット



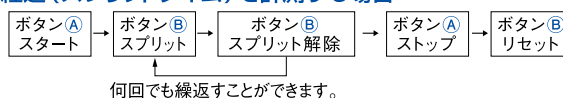
②通常的使用方法



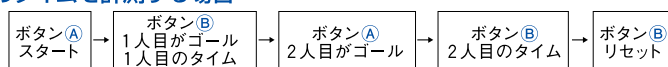
③時間計測を積算で行なう場合



④途中経過(スプリットタイム)を計測する場合



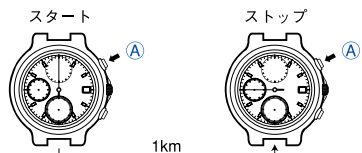
⑤2人のタイムを計測する場合



⑥ タキメーター (TACHYMETER) の使い方 (タキメーターがついている場合)

単位時間あたりの出来高などが簡単に測定できます。

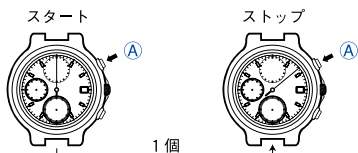
時速を測定する場合



- ① 1km 走るのに要した時間を計測します。
- ② 秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。

80km/時

1時間あたりの出来高を求める場合



- ① 製品1個が出来上がるのに要した時間を計測します。
- ② 秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。

400個/1時間あたり

⑦ テレメーター (Telemeter) の使い方 (テレメーターがついている場合)

音の発生場所までの、目安の距離を算出する事が出来ます。

(テレメーターとは)

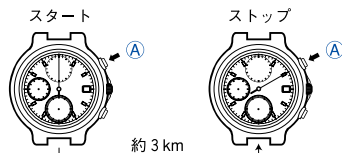
- 「いなびかり」を見てから、その「雷鳴」が聞こえるまでの時間を測定することで、雷の発生場所からの距離を推測することができます。
- 光 (いなびかり) は、ほぼ瞬時に届き、音 (雷鳴) は約0.33km/秒の速さで聞こえることを利用して、発生場所からの距離を算出します。
- 1kmを3秒かかるとして、目盛りを用意してあります。

⚠️ ご注意

あくまでも目安の距離を算出するもので、雷からの危険を避けるための行動判断には、使用できません。また、音の速度は伝わる空間の温度によって変わります。

● 計測方法

- ① ストップウォッチをリセットしておき、「いなびかり」を見たと同時にストップウォッチをスタートさせます。(ボタンA)
- ② その雷鳴が聞こえたら、ストップウォッチをストップさせます。(ボタンA) このとき、ストップウォッチの秒針が示す値を読み取ると、距離が読み取れます。



⚠️ ご注意

ストップウォッチ秒針は1秒ステップ進針するので、タキメーターやテレメーターのそれぞれの目盛と合わない部分がありますが、目安として近い数値を読みとってください。また、計測は1分以下のみで有効です。

ご注意いただきたいこと

アフターサービスについて

修理用部品について

- この時計の修理用部品の保有期間は通常7年を基準としています。
- 修理の際、一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

電池交換について

- 電池交換はお買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
(交換の際に電池の回収をおこなっております。)
その際防水性能を維持するためパッキン交換をご依頼ください。
- 電池交換は保証期間内でも有料となります。
- 10気圧防水以上の時計は、防水検査をご依頼ください。
防水検査は日数を要しますので期間をご確認ください。
- 電池交換してもすぐ止る場合はオーバーホールが必要です。

オーバーホール(分解掃除)について

時計は精密機械です。部品の油切れや磨耗により止まり遅れが生じることがあります。その際にはオーバーホールをご依頼ください。オーバーホールの際にはパッキンやバネ棒の交換もご依頼ください。

保証と修理について

- 修理やオーバーホールの際は、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内の場合は必ず保証書を添えてください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。よくお読みいただき大切に保管してください。

保証について

取扱説明書にそった正常な使用により、お買い上げ後1年以内に不具合が生じた場合には、下記の保証規定によって無料で修理・調整いたします。

保証の対象部分

- 時計本体(ムーブメント・ケース)及び金属バンドです。

保証の適用除外(保証期間内あるいは保証対象部分であっても、次のような場合には有料になります)

- 電池交換及び皮革・ウレタン・布等のバンドの交換
- 事故または不適切な取扱いによって生じた故障および損傷
- ご使用中に生じるキズ・汚れ等
- 火災・水害・地震等の天災地変による故障及び損傷
- 保証書記載項目の全てが記入された保証書のみが有効です。
故意に字句を書き換えた場合は規定の無償修理は受けられません。

保証は、保証書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証書は日本国内のみ有効です。

保証を受ける手続き

- 保証対象の不具合が生じた場合は、時計と別紙保証書をご持参の上、お買い上げ店にご依頼ください。
- お買い上げ店の保証が受けられない場合には、「セイコーウオッチ株式会社 お客様相談窓口」に保証書を添えてご依頼ください。

その他

- 修理のとき、ムーブメントを交換させていただいたり、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどに、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。ご使用部品の保有期間は本取扱説明書(P.22)をご参照ください。
- 金属バンド等の調整は、お買い上げ店または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。上記以外の販売店での調整は有料になります。

お手入れについて

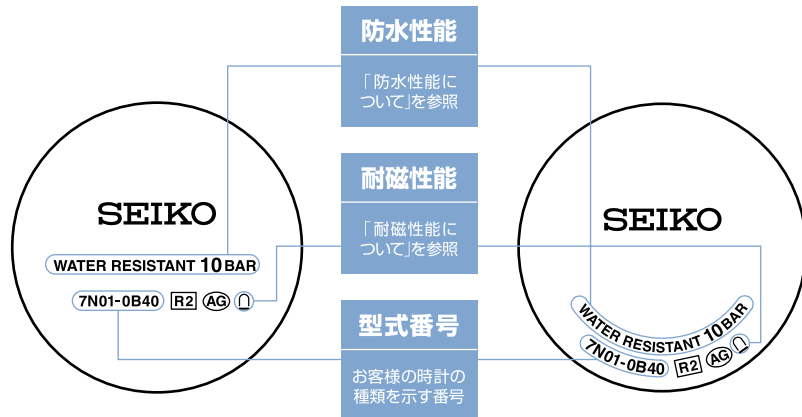
日頃からこまめにお手入れしてください

- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布で拭き取るように心掛けてください。
- すきま(金属バンド、りゅうず周り、裏ぶた周りなど)の汚れは柔らかい歯ブラシが有効です。
- 海水に浸けた後は、必ず真水でよく洗ってから拭き取ってください。
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。

りゅうずは時々回してください

- りゅうずの錆び付きを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。(りゅうずを引く必要はありません)

時計の裏ぶたでも性能と型式の確認ができます



※上記の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なります。

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を
下記の表でご確認の上ご使用ください。
(「P.27」をご覧ください)

裏ぶた表示	防水性能
表示なし	非防水です。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。



注意

- 防水性能を維持するため、電池交換の際は必ずパッキン交換をご依頼ください。
- また電池交換の際、10気圧防水以上の時計は防水検査をご依頼ください。

お取扱方法

水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。

日常生活での「水がかかる」程度
の環境であれば使用できます。 **警告** 水泳には使用しないで下さい。

水泳などのスポーツに使用できます。

空気ボンベを使用しないスキンドайビングに使用できます。

警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないで下さい

BAR (気圧) 表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要なとされる苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバースウォッチをご使用下さい。

注意

※ 万一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口(裏表紙に記載)にご相談ください。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないで下さい

時計内部に水分が入ることがあります。

注意



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けて下さい

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めてしまうからです。



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になる恐れがあります。

耐磁性能について (磁気の影響)

アナログクォーツ時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

※ 磁気により時刻が狂っても、遠ざければ正常に動きます。時刻を合わせ直してお使いください。

裏ぶた表示	お取扱方法
表示なし	磁気製品より10cm以上遠ざける必要があります。
	磁気製品より5cm以上遠ざける必要があります。 (JIS水準1種)
	磁気製品より1cm以上遠ざける必要があります。 (JIS水準2種)

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



携帯電話 (スピーカー部)



磁気健康バンド

バッグ (磁石の止め金)

磁気ネックレス

交流電気かみそり

磁気健康マット



携帯ラジオ (スピーカー部)

磁気健康枕



電磁調理器

など

アナログクォーツ時計が
磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁力で互いに影響し合い、モーターを止めたり、無理に回転させてしまうためです。

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド

- ステンレスバンドも水・汗・汚れをそのままにしておくとしび易くなります。
- 手入れが悪いとかぶれやワイシャツの袖口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布で取り除いてください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシ等で取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように台所用ラップなどで保護しておきましょう)

皮革バンド

- 水や汗、直射日光には弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- 水がかかった時や汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで吸い取るように軽く拭いてください。
- 直接日光にあたる場所に放置しないでください。
- 色味の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。

- 時計本体が日常生活強化防水(10気圧防水)になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、入浴中や水泳、水仕事などでのご使用はお控えください。

ポリウレタンバンド

- 光で色が褪せたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- 特に半透明や、白色、淡色のバンドは、他の色を吸着し易く、また変色をおこします。
- 汚れたら水で洗い、乾いた布で良く拭き取ってください。(時計本体は水にぬれないように台所用ラップなどで保護しておきましょう)
- 弾力性がなくなり、ひび割れを生じたら取り替え時期です。

かぶれやアレルギーについて

バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れもしくはバンドとのすれなど不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

バンドサイズの目安について

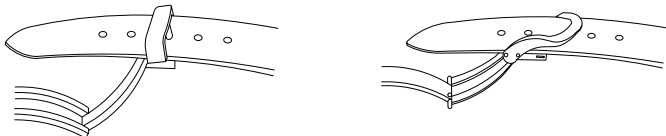
バンドは多少余裕をもたせ通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



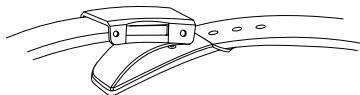
特殊な中留の使い方について

皮革バンド、および、メタルバンドの一部に特殊な中留を用いたものがございます。お買い上げの時計の中留が下記のいずれかに当てはまる場合は、各々の操作方法をご覧ください。

【A】三ツ折中留(皮革バンド専用) 【B】ワンプッシュ三ツ折中留(皮革バンド、メタルバンド)

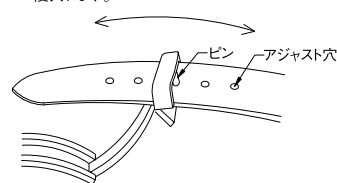
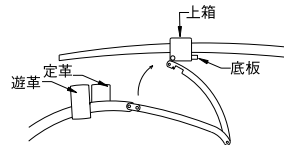


【C】ワンプッシュ三ツ折中留(皮革バンド専用)

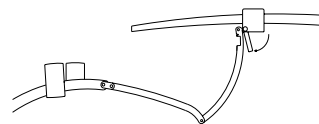


【A】三ツ折中留(皮革バンド専用)の使い方

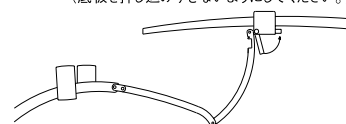
- 1) バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。
- 3) ピンをバンドのアジャスト穴から外し、バンドを左右にスライドさせて適切な長さのところでピンをアジャスト穴にもう一度入れます。



- 2) 上箱の底板を下に開きます。



- 4) 底板を閉めます。(底板を押し込みすぎないようにしてください。)

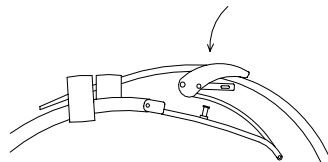
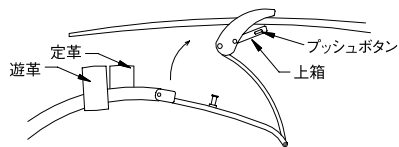


※中留を装着するときは、バンドの剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めて下さい。

B ワンプッシュミツ折中留 (皮革バンド、メタルバンド) の使い方

① 時計の着脱方法

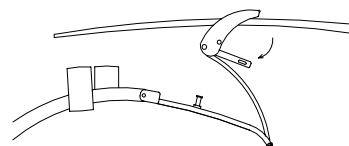
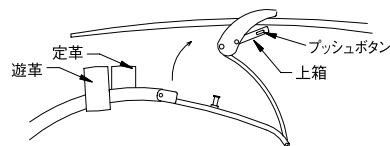
- 1) 両方のプッシュボタンを押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- 2) バンドの剣先 (先端) を定革・遊革に入れてから、上箱の上面位置をしっかりと押さえ留めます。



※メタルバンドの場合は、定革がない場合がございます。

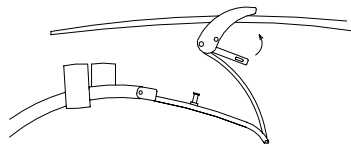
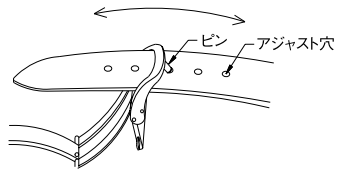
② バンドの長さ調整方法

- 1) 両方のプッシュボタンを押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- 2) もう一度プッシュボタンを押し上箱を下に開きます。

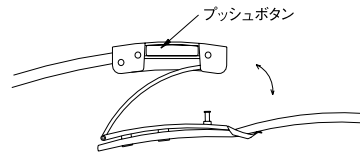


C ワンプッシュミツ折中留 (皮革バンド専用) の使い方

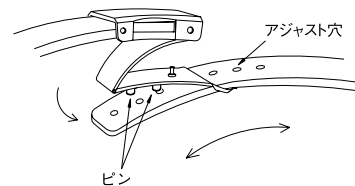
- 3) ピンをバンドのアジャスト穴から外し、バンドを左右にスライドさせて適切な長さのところまでピンをアジャスト穴に入れます。
- 4) プッシュボタンを押しながら上箱を閉めます。



- 1) プッシュボタンを押しながら中留を開きます。



- 2) バンドのアジャスト穴をピンから外し、バンドを左右にスライドさせて適切な長さのところまでピンをアジャスト穴にもう一度入れ、プッシュボタンを押しながら中留をしっかりと抑え留めます。



機種は裏ぶたでご確認いただけます。
 (「お手入れについて」をご覧ください)

機種	型式番号の前4桁 (例:7T92-0AC0)	使用電池 SB-	電池 寿命	精度 (平均 月差)
	7T92	AP	約3年	±15秒

- 上記の電池寿命は新しく電池を入れたときのもので、
 ※ただし、ストップウォッチを1日2時間以内を基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
- お買い上げ時の電池は検査用のモニター電池ですので、上記期間より早く切れる事があります。
- 秒針が2秒おきに動くのは、電池が切れる合図です。
- 精度は常温(5℃~35℃)において腕につけた場合のもので、
- 作動温度範囲は-10℃~+60℃です。

〔お買い上げの時計がルミブライトつきの場合〕

ルミブライトは、放射能等の有害物質を全く含んでいない、環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)物質です。

ルミブライトは、太陽光や照明器具の明かりを短時間(10分間:500ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約3~5時間)光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度(明るさ)は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合いにより、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

〈照度データ〉(目安値)

- ① 太陽光 [晴天] 100,000ルクス [曇天] 10,000ルクス
- ② 屋内(昼間窓際) [晴天] 3,000ルクス以上 [曇天] 1,000~3,000ルクス
 [雨天] 1,000ルクス以下
- ③ 照明(白色蛍光灯40Wの下で) [1m] 1,000ルクス
 [3m] 500ルクス(通常室内レベル)
 [4m] 250ルクス